

児童発達支援における 医療的ケア児の生活支援

就学前のお子様が利用の対象である児童発達支援では、医療的なケアを必要とするお子様もご利用になっています。集団および社会参加の場等としての機能や役割を担いつつ、お子様の健康や成長をサポートさせていただいています。

医療的なケアを必要とするお子様およびそのご家族の地域での生活を支えていくために、フレンズあすわの児童発達支援で医療的ケアを含めた生活支援を始めた背景について簡単に触れ、当事業所でのお子様の生活やサポート内容等についてご紹介します。

医療的ケア児とは

医療的ケア児とは、生活する中で「医療的なケア」を必要とするお子様のことを指します。

医療的ケアとは、病院以外の場所で、家族等が医療的ケア児に対し、健康を守っていくために行う医療的な援助のことです。

例えば、気管に溜まった「たん」を吸引する「たん吸引」、口から食事が摂れない場合に、チューブを使って、鼻やお腹から胃に直接栄養を送る「経管栄養」、呼吸のしづらさ・負担を軽減する「酸素吸入」などがあります。いずれも医療行為にあたるため、医師の指示のもと、看護師等による対応が必要となります。

地域支援体制について

以前は、医療的ケア児の地域生活を支える環境や体制はまだ整っておらず、地域の保育園や学校等で過ごすことは難しく、医療機関やご家庭で支えられてきました。また、医療型の通所支援施設はありましたが、数も少なく、利用できないお子様がいる等の課題がありました。

このような背景から、近年、福祉での対応が求められるようになってきています。

フレンズあすわでは、これまでに福祉型の児童発達支援事業所として、支援に取り組んできていることから、そのノウハウを活かしつつ、医療的ケアの対応が可能な看護師を配置することによって、保育園等に通うことが難しいお子様達の活動や同年代の子達との交流の場を提供させていただいています。

たん吸引



経管栄養

酸素吸入

事業所での生活について

週3日ご利用しているAさん。通い出して間もないころは、家庭以外での初めての生活に緊張している様子がありました。今では、フレンドアすわでの生活に慣れて、笑ったり、お話をしてくれます。

左図にあるように、看護師や保育士等が協働しながら、Aさんの健康と成長をサポートしています。

Aさんは、塗ったり貼ったりといった製作活動や箱に物を落とすといった教材・知育玩具等で遊ぶことが好きで、いつも楽しく活動に取り組んでいます。仕上がると、職員にアピールし、言葉を添えると、嬉しそうにされます。

また、お友達との交流場面では、お互いが笑顔を交わす姿も見られています。さらに、車いすを自分で操作して、館内を探検したり、そこでスタッフと交流をもちたりすることも大好きです。

| | | |
|-------|-------------------------|---|
| 9:00 | 来所・検温・排泄(処置) 運動・身体ケア |  |
| 9:30 | 朝の会・活動(絵本・手遊び歌) | |
| 10:00 | おやつ 排泄(処置) |  |
| 10:20 | 活動 | |
| 11:15 | 昼食 はみがき | |
| 12:00 | 排泄(処置) |  |
| 12:30 | お昼寝 | |
| 14:30 | 起床・検温 |  |
| 15:00 | 排泄(処置) おやつ | |
| 15:30 | 運動・身体ケア 排泄(処置) | |
| 16:00 | お迎え |  |



1日の流れ

家族と共に

来所時やお迎えの際に、ご家族と話をする機会を持たせていただいています。その日の体調をはじめ、活動時や交流時の様子などを丁寧にお伝えするようにしています。また、ご家族から相談を受けることもあります。さらに、ご家族の就労を支えるといった機能もあり、家族のサポートも大事な役割となっています。

フレンドアすわさんを利用させてもらって、たくさん活発になり、いろいろなことに興味をもてるようになってきました。多くの方がかわってくれているのだなと、とてもうれしく感じ、さらに私達家族の話を一つひとつ丁寧に聞いてもらえ、安心・信頼しています。

ご家族様

今後、地域での暮らしの選択として、就園や就学といったこともあるかと思えます。そのようなとき、ご家族と相談を重ねながら『支援の引き継ぎ』や『連携のサポート』等、丁寧に行っていきたいと考えています。

Aさんは、フレンドアすわで医療的ケアの児童発達支援を開始して、初めての利用者の方でした。利用の初日、お互いに緊張していたのをよく覚えています。医療的および身体的ケア・発達支援とその日の体調に合わせて行わせていただいています。幼少期の大切な時期を一緒に過ごせることをうれしく思っています。

担当看護師